令和5年度諫早市農業委員会 第5回総会議事録

1 開催日時 令和5年7月28日(金) 開会 午後2時00分～閉会 午後3時10分

2 開催場所 諫早市市民センター 講堂

3 出席委員 (18人)

会 長 20番 山開博俊

会長職務代理者 19番 久本純造

農 業 委 員 2番 牟田直志 3番 西口雪夫 4番 立森和富

6番 林田芳信 7番 平野和敏 8番 増田真美子

9番 補伽文夫 10番 森田正男 11番 中島康範

12番 松本秀徳 13番 江崎義明 14番 野田 浩

15番 泉野政則 16番 田淵勇二 17番 池田武弘

18番 増山時子

4 欠席委員 (2人) 1番 久保 繁 5番 前田貞松

5 付議事件

第1号 農地法第3条の規定による許可申請書審議の件

第2号 農地法第3条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件

第3号 農地法第4条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件

第4号 農地法第5条の規定による許可申請書審議の件

第5号 農地法第5条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件

第6号 農業経営基盤強化促進法による利用権設定等審議の件

第7号 農地中間管理事業に係る「農用地利用集積等促進計画」に対する意見聴取の件

6 報 告

第1号 農地法第3条の3の規定による届出書受理の件

第2号 農地法第18条第6項の規定による合意解約の通知の件

第3号 農地法第4条の規定による農地転用届出書受理の件

第4号 農地法第5条の規定による農地転用届出書受理の件

第5号 農業用施設届出書受理の件

第6号 農地改良等届出書受理の件

第7号 農地賃借料情報の件

7 そ の 他

8 事務局

局長 諸岡昌史 次長 増山義洋 主任 境田正文
主任 田中順子 事務職員 山内 裕

9 議 事

(開会)

議 長 これより、「令和5年度 諫早市農業委員会 第5回総会」を開会いたします。
総会の定足数について、事務局より報告願います。

事 務 局 総会の定足数につきまして、ご報告いたします。
農業委員会の在任委員20名中、18名の出席で定足数に達していますので、総会が成立していることをご報告いたします。なお、1番・久保委員、5番・前田委員から欠席の届出がっております。以上で、報告を終わります。

議 長 それでは議事に入る前に、諫早市農業委員会総会会議規則第19条第2項に規定の議事録署名人を定めたいと存じます。

私に、ご一任いただければ指名したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 異議なしということですので、議事録署名人に2番・牟田直志委員、11番・中島康範委員のご両人をお願いいたします。

それでは、議事に入りますが、議事進行上、発言される際は、挙手をし、議長の許可を受けてから、氏名を告げて発言願います。

また、発言は、簡明に、議題外、又はその範囲を越えないようにお願いします。

(議案第1号) 議 長 それでは、議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請書審議の件」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事 務 局 それではご説明いたします。1番、小栗地区、平山町、小ヶ倉町の農地2筆、計2,695㎡について、農業後継者として農業に精進するため、贈与を受ける申請です。権利取得後の農地面積は5,867㎡です。トラクターや軽トラック等の機械は所有されており、家族と一緒に農作業をされています。また農業に約10年間従事され、譲受人宅から申請地までは車で約5分以内でありますので、機械、労働力、技術、通作距離に問題は無いと思われま。

2番から4番は借受人が同一の案件ですので合わせて説明いたします。

2番、長田地区、中田町の農地2筆、1,808㎡

3番、高来地区、高来町東平原の農地3筆、6,047㎡

4番、高来地区、高来町東平原の農地2筆、9,294㎡

計17,149㎡について、新規に農業経営を行うため、2番と3番は賃貸借、4番は使用貸借でそれぞれ1年間借り入れる申請です。権利取得後の農地面積は17,149㎡です。トラクターやトラック等の機械は所有されております。農地所有適格法人ではありませんが、①貸借契約が解除条件付の契約であること、②地域との調和要件を満たしていること、③重要な使用人が農業に常時従事することによって農地法第3条第2項第2号の農地所有適格法人以外の法人が農地を貸借する要件を満たす。

たしております。また飯盛町の農地を間借りし、昨年から試験的に営農をされておりニンニク、唐辛子、生姜の耕作経験があります。新規営農にあたり、営農計画書の提出がっております。借受人の事務所から申請地までは車で約30分ですので、機械、労働力、技術、通作距離に問題は無いと思われま。

議長 議案第1号の説明がありましたので、1番・小栗地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委員 1番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、贈与を受ける農地において年間を通しイチゴを栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第3条第2項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議をお願いします。

議長 1番の説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議長 ご質問がないようですので、1番は申請どおり許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議長 ご異議がないようですので、1番は申請どおり許可することに決定いたします。

議長 次に、2番・長田地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委員 2番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、借り入れる農地において年間を通しニンニク、唐辛子、生姜を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第3条第2項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議をお願いします。

議長 2番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議長 ご質問がないようですので、2番は申請どおり許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議長 ご異議がないようですので、2番は申請どおり許可することに決定いたします。

議長 次に、3番と4番・高来地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委員 3番と4番の農地を地区推進委員と確認してきました。権利取得後は、借り入れる農地において年間を通しニンニク、唐辛子、生姜を栽培されると見込まれます。権利取得後において周辺地域に及ぼす影響は特になく、「地域の農地の利用調整に協力する。」とのことであり、地域との調和要件も満たされています。農地法第3条第2項各号のいずれにも該当しないため、地区協議会でも問題ないとの意見でした。ご審議をお願いします。

議長 3番と4番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、3番と4番は申請どおり許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、3番と4番は申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 次の議案第2号「農地法第3条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件」と議案第3号「農地法第4条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件」及び 議案第5号「農地法第5条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件」につきましては、全て営農型太陽光発電に関する変更でございますので、後で一括して審議したいと思います。

(議案第4号) それでは、議案第4号「農地法第5条の規定による許可申請書審議の件」を議題といたします。事務局から、説明をお願いします。

事 務 局 議案第4号 農地法第5条の規定による許可申請書審議の件についてご説明いたします。

1番、栄田町の畑1筆714㎡の農地と併用地として、隣接する宅地及び里道の一部を併せまして全体の開発面積1,005.94㎡について、特定建築条件付土地、3区画分とする転用申請です。区域区分は調整区域、農振白地です。契約内容は所有権移転の売買、農地の立地基準については、第2種農地に該当します。

本件は、3区画を造成し住宅を建築する計画となっており、造成については盛土を最高0.3m、切土を1.32m施し周囲には擁壁及びブロック積みで土砂等の流出を防ぎます。排水について、雨水は造成地内に側溝を整備し、既存の道路側溝へ、汚水等については合併浄化槽を設置し、道路側溝へ放流します。隣接する農地所有者等との協議報告書が添付され、資金については融資証明書で確認しています。なお、都市計画法第29条第1項に基づく開発許可申請中です。

2番、平山町の田及び畑の8筆計4,818㎡と併用地として隣接する雑種地4筆と里道及び水路の一部と併せまして合計4,973.60㎡について、分譲宅地用地、18区画分とする転用申請です。契約内容は売買、区域区分は調整区域、農振白地です。農地の立地基準については第2種農地に該当します。本申請は18区画分の分譲宅地を造成するもので、農地法上、転用目的が造成のみの宅地分譲は原則許可できませんが、本件は譲受人が一般社団法人のため、例外的に申請が可能となります。本件における造成計画についてですが、盛土を最高0.8m、切土を最高0.6m施し、申請地との境にはコンクリート擁壁を設置し、土砂流出等の被害を防ぎます。日照・通風については隣接の農地との間に6m程の緩衝地を設けるため、影響はないものと思われます。雨水は道路側溝に放流し、汚水等は下水道へ接続する計画です。隣接する農地はなく、資金については融資証明で確認しています。都市計画法第29条第1項による開発許可申請中です。

3番、早見町の畑1筆46㎡について、住宅用地の拡張とする追認の申請です。契約内容は贈与で、当事者間の協議により贈与としております。区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、農地の立地基準については、

第2種農地に該当しております。本件の経過についてですが、令和元年に隣接地に住宅兼事務所を建築する際に、申請地を取得し、一体的に利用するという計画でしたが、当時の所有者との交渉がうまくいかず、取得できませんでした。今般、相続人である現所有者から贈与を受ける形で話がまとまり、手続きを進めていたところ、農地であることが判明したため転用するものです。土地の造成はなく、現状のまま利用し、雨水排水については自然流下であり、隣接する農地はありません。また、本件にかかる追加の資金はなく、許可なく農地を農地以外のものにしていたということで、顛末書の提出がなされております。

4番、中通町の田1筆12㎡について、通路用地とする転用申請です。契約内容は売買、区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、第1種農地に該当しますが、隣接する農地を転用するために欠くことのできない通路であるため不許可の例外に該当します。本件はもみ殻置場として使用している土地へ通るための通路として転用するもので、造成はなく、現状のまま利用します。雨水排水については自然流下とし、隣接する農地はなく、資金については通帳の写しで確認しています。

5番、貝津町の畑4筆計528㎡について、貸駐車場用地とする申請です。契約内容は所有権移転の売買となっております。区域区分は調整区域、農振白地です。農地の立地基準については、第2種農地に該当しております。申請地ですが、貸駐車場16台分を整備するものです。造成については、現状のまま利用し、転圧し砂利敷きとするものです。築堤、素掘り側溝、U字溝を設置し、隣接農地等への土砂等の流出を防ぎます。雨水については、整備する側溝から道路側溝に接続します。污水については発生いたしません。隣接する農地所有者等との協議報告書が添付され、資金については残高証明書で確認しております。

6番、森山町下井牟田の畑1筆232㎡と併用地として隣接する宅地360.03㎡と併せて、合計592.03㎡について、住宅用地とする転用申請です。契約内容は贈与で、親族、親子間による贈与です。農地の立地基準については第2種農地に該当しております。申請者ですが、現在福岡県筑紫野市に在住ですが、今回Uターンで戻ってくるもので、農業の方もこれを機に引き継ぐものとなっております。申請地について造成は無く、農作業所や駐車場として利用します。雨水排水については自然流下とし、隣接する農地はなく、資金については通帳の写しで確認しています。

7番、飯盛町後田の田1筆983㎡のうち法面を除く有効利用面積が901.57㎡について、資材置場用地とする転用申請です。契約内容は賃貸借権設定の20年、区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については第2種農地に該当しております。申請者ですが、飯盛町内で大工業を営んでおります。本件は現在各現場で置かせてもらっている木材や足場材等の資材置場として利用するものです。土地の造成については盛土を最高1m施し、コンクリートブロック積みによる土留め工事を行うことで土砂流出等の被害がないようにします。雨水排水については自然流下とし、隣接する農地はなく、資金については通帳の写しで確認して

おります。

8番、飯盛町佐田の田1筆100㎡について通路用地とする申請です。契約内容は所有権移転の売買となり、区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、第2種農地に該当します。本件ですが、隣接地を資材置場として利用するにあたり、その出入りの為の通路として整備するものです。造成計画についてですが1m盛土を行い、隣接地との間には緩衝地を設けます。雨水排水については自然流下とし、隣接する農地はなく、資金については通帳の写しで確認しております。

9番、飯盛町平古場の田4筆合計3,940㎡の農地について、事業所用地、敷地の拡張とする申請です。契約内容は所有権移転の売買です。区域区分はその他の区域、農振白地です。農地の立地基準については、第2種農地に該当しております。申請者は木材の加工・販売を行っており、プレカット工場を経営しております。近年の受注量増加により、現在の事業所用地では材料・商品の在庫置き場や作業場が不足しているため、敷地の拡張を行い安全で余裕を持った保管を行うものです。また、工場立地法に基づき緑地帯を設けるものです。造成については、盛土を最高2.1m施し、種子吹付及び保護コンクリートにより法面保護を行い被害が無いようにいたします。雨水については、側溝を整備し隣接する水路へ接続します。汚水は発生いたしません。隣接農地所有者等との協議報告書が添付され、資金については残高証明書で確認しております。なお、市環境保全条例に基づく事前協議完了届出の提出がなされております。

10番、高来町下与の畑1筆382㎡の農地について、住宅用地、一般住宅とする転用申請です。区域区分はその他の区域、農振白地です。契約内容は所有権移転の売買、農地の立地基準については、第2種農地に該当しております。申請地ですが、木造平屋建ての住宅を建築します。造成については、盛土を最高0.4m、切土を最高0.53m施し、周囲をコンクリート擁壁で囲い土砂等の流出を防ぎます。雨水については、道路側溝に接続し、汚水は下水道に接続します。隣接する農地はなく、資金については融資証明書で確認しています。

11番、高来町東平原の畑1筆307㎡について、駐車場用地とするもので、追認の申請となります。契約内容は売買で、農地の立地基準については第2種農地に該当しております。本件についてですが、昭和56年頃に譲渡人の父が農業用倉庫として建築し利用していましたが、父の他界後しばらく農業用倉庫としての利用はしておりませんでした。今回譲受人からの駐車場として利用したい旨の相談があり転用申請に至ったものです。土地の利用計画については、倉庫部分にマイクロバス1台を駐車し、北側部分に普通車1台を駐車する計画となっております。なお、土地の造成は無く現状のまま利用します。雨水排水については自然流下とし、隣接する農地所有者等との協議書が添付されております。本件にかかる追加の資金はありませんが、許可なく農地を農地以外のものにしていたということで、顛末書の提出がなされております。以上で説明を終わります。

議長 議案第4号の説明がありましたので、1番・諫早地区担当の委員さん補足説明を

議 長 (「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、5番は申請どおり許可することに決定いたします。

委 員 次に、6番・森山地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

議 長 6番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議のほどよろしくをお願いします。

議 長 6番について、何かご質問はありませんか。

議 長 (「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、6番は申請どおり許可することにご異議ありませんか。

議 長 (「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、6番は申請どおり許可することに決定いたします。

委 員 次に、7番から9番・飯盛地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 7番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議のほどよろしくをお願いします。

委 員 8番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議のほどよろしくをお願いします。

委 員 9番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議のほどよろしくをお願いします。

議 長 7番から9番について、何かご質問はありませんか。

議 長 (「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、7番から9番は申請どおり許可することにご異議ありませんか。

議 長 (「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、7番から9番は申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 次に、10番と11番・高来地区担当の委員さん補足説明をお願いします。

委 員 10番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議のほどよろしくをお願いします。

委 員 11番、担当地区の推進委員と現地調査を行い、地区協議会で協議したところ、土地利用計画図、被害防除計画書等から判断して適正であると思われます。ご審議のほどよろしくをお願いします。

議 長 10番と11番について、何かご質問はありませんか。

議 長 (「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、10番と11番は申請どおり許可することにご異議

ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議長 ご異議がないようですので、10番と11番は申請どおり許可することに決定いたします。

議長 それでは、営農型太陽光発電に関する、議案第2号「農地法第3条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件」と、議案第3号「農地法第4条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件」及び、議案第5号「農地法第5条の規定による許可後の計画変更承認申請書審議の件」につきまして、事務局から説明をお願いします。

事務局 議案第2号、議案第3号、議案第5号についてご説明いたします。営農型太陽光発電施設用地に関する議題となっております。営農型太陽光発電施設について、これまでの経過を説明いたします。営農型太陽光発電施設とは、農地を農地として活用・耕作しながらその上部に太陽光発電施設を設置するもので、農地法の許可としては、パネルの支柱部分の一時転用の許可が必要になります。

今回、既に許可を受けた営農型太陽光発電施設用地について、変更承認申請がなされております。最初の許可が令和4年5月10日付けで4か所の許可をしています。その後、令和5年4月10日付けで9箇所の許可をし、現在、太陽光発電パネルの設置工事を進められておりました。営農される「みやびファーム合同会社」が令和5年4月28日付けで認定農業者の認定を受けたことにより、令和5年4月10日付けで許可した9箇所のうち、一時転用期間が3年となっていた、5カ所の一時転用期間を10年に変更するとの申請が、先月提出され、先月の総会で審議の予定でしたが、事前に行われましたD地区の地区別協議会の中で、現地を確認された委員さんから、当初計画どおりのパネルの配置がなされていないとの指摘がありました。申請者に確認したところ、一時転用の許可を取るのに時間を要したため、時期が遅れたことにより、設置するパネルを変更することとなり、パネルの規格等が変わったため配置等を変更し、工事に入ったとのことでした。

これを受けまして、事務局の対応としましては、本来計画を変更する場合は、事前に変更承認を受けてからとなりますので、申請者に工事の停止を指示し、まずは変更承認を受けるよう指導いたしました。よって審議前に先月の申請は取下げとなりました。

申請者に他の箇所の分についても確認したところ、これまで許可した分すべてにおいて、配置変更となったとのことです。また今回の変更に合わせて作物についても当初サカキを予定していましたが、ハナシバ等に変更するとのことです。これについては、先進地である世知原の視察を、営農を行う申請人の会社職員3名、出荷先予定の市場関係者、県央・県北振興局職員で行い、その際に太陽光パネルの下ではハナシバが適しているとの助言をもらい、今回、サカキをハナシバに変更するとのことです。また、パネルを設置できない部分では、一部、そばの栽培及び自社農園、試験栽培をして活用するとのことです。そばの栽培については、高来地区で活動されている高来そば振興協議会に協力していただくとのことです。

よって、今月は、すでに許可した13カ所の内、2カ所を除く、11カ所について今回変更承認申請がなされております。他の2カ所についても、今後変更申請がなされる予定です。それでは、個別に説明をいたします。

議案第2号の1番、及び議案第5号の1番、令和4年4月28日付けで3条許可及び令和4年5月10日付けで5条一時転用許可をした、有喜町の農地1筆542㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申請です。パネル枚数が122枚が127枚に、支柱が50本が49本に変更となり、耕作する農地面積が541.78㎡に変更となります。一時転用となる支柱部分の面積が、0.23㎡が0.22㎡に変更となるものです。契約内容は賃貸借権設定の10年、区域区分はその他の区域、農振白地です。作物については、ハナシバを定植しております。

議案第2号の2番、及び議案第5号の2番

令和5年3月28日付けで3条許可及び令和5年4月10日付けで5条許可をした、西里町の農地1筆1,428㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申請です。

パネル枚数が243枚が199枚に、支柱が88本が84本に変更となり、耕作する農地面積が1427.62㎡に変更となり、一時転用となる支柱部分の面積が、0.39㎡が0.38㎡に変更となるものです。契約内容は賃貸借権設定の10年、区域区分は調整区域、農振白地です。作物については、サカキをハナシバに変更することです。

議案第2号の3番、及び議案第5号の4番、令和5年3月28日付けで3条許可、及び令和5年4月10日付けで5条許可をした、高来町町名の農地1筆771㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申請です。パネル枚数が、224枚が190枚に、支柱が88本が77本に変更となり、耕作する農地面積が770.65㎡に変更となり、一時転用となる支柱部分の面積が、0.39㎡が0.35㎡に変更となるものです。契約内容は賃貸借権設定の10年、区域区分はその他の区域、農振農用地です。作物については、サカキをハナシバに変更することです。

議案第2号の4番、及び議案第5号の5番、令和4年4月28日付けで3条許可及び令和4年5月10日付けで5条許可をした、高来町法川の農地1筆1035㎡について、設置する営農型太陽光発電施設の、パネルの配置変更による計画変更承認申請です。パネル枚数が243枚が232枚に、支柱が96本が72本に変更となり、耕作する農地面積が1034.67㎡に変更となります。一時転用となる支柱部分の面積が0.44㎡が0.33㎡に変更となるものです。契約内容は賃貸借権設定の10年、区域区分はその他の区域、農振農用地です。作物については、ハナシバを定植しております。

議案第2号の5番、及び議案第5号の6番、令和4年4月28日付けで3条許可及び令和4年5月10日付けで5条許可をした、高来町小峰の農地1筆997㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申

請です。パネル枚数が243枚が232枚に、支柱が98本が89本に変更となり耕作する農地面積が996.60㎡に変更となります。一時転用となる支柱部分の面積が0.44㎡が0.40㎡に変更となるものです。契約内容は賃貸借権設定の10年、区域区分はその他の区域、農振農用地です。作物については、ハナシバを定植しております。

議案第2号の6番、及び議案第5号の7番、令和5年3月28日付けで3条許可及び令和5年4月10日付けで5条許可をした、高来町上与の農地1筆1441㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による、計画変更承認申請です。パネル枚数が243枚が200枚に、支柱が94本が90本に変更となり、耕作する農地面積が1440.59㎡に変更となり、一時転用となる支柱部分の面積が0.42㎡が0.41㎡に変更となるものです。契約内容は賃貸借権設定3年、区域区分はその他の区域、農振農用地です。作物については、サカキをハナシバ・そばに変更するとのことです。併せて、認定農業者の認定を受けたことにより一時転用の期間を3年から10年に変更するものです。

議案第2号の7番、及び議案第5号の8番、令和5年3月28日付けで3条許可及び令和5年4月10日付けで5条許可をした、高来町峰の農地2筆1695㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申請です。パネル枚数が243枚が200枚に、支柱が106本が80本に変更となり耕作する農地面積が1694.64㎡に変更となり、一時転用となる支柱部分の面積が0.47㎡が0.36㎡に変更となるものです。契約内容は賃貸借権設定の3年、区域区分はその他の区域、農振農用地です。作物については、サカキをハナシバ・そばに変更するとのことです。併せて、認定農業者の認定を受けたことにより一時転用の期間を3年から10年に変更するものです。

議案第3号の1番、令和5年4月10日付けで4条許可をした、土師野尾町の農地1筆1697㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申請です。パネル枚数が243枚が200枚に、支柱が96本が74本に変更となり、一時転用となる支柱部分の面積が0.44㎡が0.34㎡に変更となるものです。区域区分は調整区域、農振農用地です。作物については、サカキをハナシバと自社農園に変更するとのことです。併せて、認定農業者の認定を受けたことにより一時転用の期間を3年から10年に変更するものです。

議案第3号の2番、令和5年4月10日付けで4条許可をした、高来町船津の農地1筆1601㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申請です。パネル枚数が243枚が200枚に、支柱が86本が88本に変更となり、一時転用となる支柱部分の面積が0.38㎡が0.40㎡に変更となるものです。区域区分はその他の区域、農振農用地です。作物については、サカキをハナシバ・そばに変更するとのことです。

議案第3号の3番、令和5年4月10日付けで4条許可をした、小長井町大瀬の農地1筆708㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申請です。パネル枚数が165枚が162枚に、支柱が58本が

77本に変更となり、一時転用となる支柱部分の面積が0.26㎡が0.35㎡に変更となるものです。区域区分はその他の区域、農振農用地です。作物については、サカキをハナシバに変更することです。併せて、認定農業者の認定を受けたことにより一時転用の期間を3年から10年に変更するものです。

議案第5号の3番、令和4年5月10日付けで5条許可をした、西里町の農地1筆1500㎡について、設置する営農型太陽光発電施設のパネルの配置変更による計画変更承認申請です。パネル枚数が243枚が232枚に、支柱が93本が92本に変更となります。なお、台帳整理の都合により小数点第2位までの表示となりますので、支柱は1本減っておりますが、端数整理の関係で一時転用面積は0.42㎡で面積の変更はありません。区域区分は調整区域、農振農用地です。作物については、サカキをハナシバに変更することです。以上です。

- 議長 事務局から説明がありましたので、議案第2号の1番から7番、議案第3号の1番から3番、議案第5号の1番から8番について、何かご質問はありませんか。
- 委員 申請人の名称が、いくつかあって統一されていないのはどうしてでしょうか。
- 事務局 経済産業省に対して、営農型の太陽光の許可を取った時に、どの名称で取ったかというところの違いでございます。資金などの関係で割り振りをしているようです。
- 委員 わたくしどもの地区からは離れているため、正直、遠いお話のように感じているところですが、太陽光パネルを設置するときは、補助金が出ても、処分するときは、補助金は出ないんじゃないかと思えます。これだけ売電価格が下がっている中、苦しい経営の中で処分に困って、一部では、山の中に捨てたりするという事も聞いております。遠いお話だとは言いましたが、私どもの地域は、簡易水道でして、多良岳山系の水をもらっておりますので、太陽光パネルの、鉛をたくさん含んだものが、40年後、50年後、私たちの子や孫の時代に影響しないかという不安があります。今、どんどん太陽光パネルがたっていますが、条件をつけるなどしなければ、これから先、どのような状況になるか不安になります。少し話はずれますが、このような思いです。
- 委員 今回の案件につきましては、いくつかの変更があったところですが、私が一番気になっているところは、営農型太陽光というのがまだ実績がなく、また今後ハナシバにおいても、4、5年は販売利益が出てくるのは見込みはないということです。そういう状況の中で、今回は、諫早市内の業者さんということですが、今後、この案件については許可したとしてもですね、今後、営農型の太陽光において、その法人の事業所が市外もしくは県外だった場合、それも許可できるのかということと、将来、会社が倒産して消滅して、太陽光だけ残ってしまったとき、市外、県外の業者さんと諫早市内の業者さんでは、責任の取り方が違うんじゃないかという風に思えます。
- 事務局 先ほどの撤去に関する補足説明なんですけども、転用の申請をされる際に、撤去

合意書というものを書面でとっております。予定としては売電期間が20年後の予定で撤去合意書ということで書面をとっております。それと併せて、この廃棄完了後の廃棄の問題で、国の方でも議論がなされておるところですけれども、今後、売電価格から撤去費用を積み立てるための天引きをすることになっていると聞いております。

事務局 事務局としてもですね、他県とかの農業委員会の状況もちょっと確認してみようと思いますけど多分今説明した天引きの話なんですけど、それを多分どうか確実なところにプールして、第三者の業者ですね、撤去業者とかですね、そういうところに供託して、契約をするというのが今後の流れになってくるだろうと思いますので、そこはまた今一度確認したいと思っております。

議長 他に何かご質問ございませんか。

委員 先ほど、委員さんから、補助を受けているという話を仰ってましたが、今回申請があがってる分について、国の補助を受けておられるのか確認したいと思います。

事務局 お答えします。申請者に確認したところ補助は受けてないということで確認しております。

議長 議案第2号の1番から7番、議案第3号の1番から3番、議案第5号の1番から8番についてご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議長 ほかにご質問がないようですので、議案第2号の1番から7番、議案第3号の1番から3番、議案第5号の1番から8番は申請どおり許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議長 ご異議がないようですので、議案第2号の1番から7番、議案第3号の1番から3番、議案第5号の1番から8番については申請どおり許可することに決定いたします。

議長 次に、議案第6号「農業経営基盤強化促進法による利用権設定等審議の件」を(議案第6号)議題といたします。事務局から、説明をお願いします。

事務局 1番と2番は借受人が同一の案件です。

1番、長田地区、猿崎町、高来地区、高来町黒崎の農地3筆、2,793㎡

2番、高来地区、高来町里の農地1筆1,007㎡

計3,800㎡について、農業経営規模拡大を行うため、使用貸借10年及び賃貸借10年で借り入れる新規の申出です。申出人は、イチゴ、水稻の生産を主体に経営されています。

3番、多良見地区、多良見町佐瀬の農地3筆 1,783㎡、について農業経営規模拡大を行うため、賃貸借20年で借り入れる新規の申出です。

申出人は、みかんの生産を主体に経営されています。

以上、1番～3番までの申し出は、権利取得後の全ての農地について、年間を通して耕作されると認められるため、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしています。

- 議 長 事務局から説明がありましたが、1番から3番について、何かご質問はありませんか。
(「なし」と言う者あり)
- 議 長 ご質問がないようですので、1番から3番は、申出どおり許可することにご異議ありませんか。
(「異議なし」と言う者あり)
- 議 長 ご異議がないようですので、1番から3番は申出どおり許可することに決定いたします。
- 議 長 続きまして、関連がありますので、議案第6号の4番から44番、議案第7号
(議案第7号) 「農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画に対する意見聴取の件」について、一括して議題とします。事務局から、説明をお願いします。
- 事 務 局 議案第6号の4番から5番は借受人が同一の案件です。
4番、諫早地区幸町の農地1筆、1, 117㎡
5番、小野地区赤崎町の農地2筆、5, 090㎡
計6, 207㎡を議案第7号の1番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。
6番から7番は借受人が同一の案件です。
議案第6号の
6番、小野地区赤崎町の農地1筆、1, 300㎡
7番、小野地区赤崎町の農地8筆、13, 039㎡
計14, 339㎡を議案第7号の2番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります
8番から14番は借受人が同一の案件です。
議案第6号の
8番、小野地区赤崎町の農地16筆、21, 027㎡
9番、小野地区赤崎町の農地2筆、3, 388㎡
10番、小野地区小野島町の農地1筆、3, 653㎡
11番、森山地区森山町下井牟田の農地1筆、225㎡
12番、森山地区森山町下井牟田の農地2筆、1, 386㎡
13番、森山地区森山町下井牟田の農地1筆、1, 638㎡
14番、森山地区森山町下井牟田の農地2筆、1, 138㎡
計32, 455㎡を議案第7号の3番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。
15番から17番は借受人が同一の案件です。
議案第6号の
15番、小野地区赤崎町、川内町の農地4筆、15, 623㎡

16番、小野地区川内町の農地2筆、5,399㎡

17番、小野地区川内町の農地1筆、1,446㎡

計22,468㎡を議案第7号の4番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、玉ねぎの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

議案第6号の18番、小野地区小野島町の農地8筆、13,416㎡を、議案第7号の5番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

議案第6号の19番、小野地区小野島町、川内町の農地3筆、6,930㎡を、議案第7号の6番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、麦、アスパラの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

議案第6号の20番、長田地区中田町の農地2筆、1,644㎡を、議案第7号の7番に賃貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、玉ねぎの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります。

21番から22番は借受人が同一の案件です。

議案第6号の

21番、長田地区長田町の農地1筆、1,609㎡

22番、長田地区長田町の農地1筆、1,720㎡

計3,329㎡を議案第7号の8番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、ミニトマトの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります

議案第6号の23番、長田地区正久寺町の農地1筆、717㎡を、議案第7号の9番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります

24番から25番は借受人が同一の案件です。

議案第6号の

24番、長田地区正久寺町の農地1筆、1,419㎡

25番、長田地区正久寺町の農地1筆、597㎡

計2,016㎡を議案第7号の10番に使用貸借10年及び20年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、ミニトマトの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより新規就農に繋がります

議案第6号の26番、多良見地区多良見町佐瀬の農地1筆、283㎡を、議案第7号の11番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、みかんの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります

27番から43番は借受人が同一の案件です。

議案第6号の

- 27番、森山地区森山町本村の農地2筆、2,867㎡
- 28番、森山地区森山町田尻の農地1筆、968.58㎡
- 29番、森山地区森山町本村の農地2筆、5,937㎡
- 30番、森山地区森山町本村の農地1筆、3,937㎡
- 31番、森山地区森山町本村の農地1筆、3,050㎡
- 32番、森山地区森山町本村の農地1筆、2,937㎡
- 33番、森山地区森山町本村の農地13筆、13,987.17㎡
- 34番、森山地区森山町本村の農地2筆、5,918㎡
- 35番、森山地区森山町本村の農地1筆、2,460㎡
- 36番、森山地区森山町本村の農地2筆、4,276㎡
- 37-1番、森山地区森山町本村の農地1筆、48㎡
- 38-1番、森山地区森山町本村の農地10筆、10,029㎡
- 39番、森山地区森山町本村の農地4筆、6,312㎡
- 40番、森山地区森山町本村の農地4筆、4,517.28㎡
- 41番、森山地区森山町本村の農地12筆、9,961.62㎡
- 42番、森山地区森山町本村の農地2筆、1,085㎡
- 43番、森山地区森山町本村の農地22筆、38,435㎡

計106,764.37㎡を議案第7号の12番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、野菜の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより新規に法人での営農に繋がります。

38-2と37-2の一部は借受人が同一の案件です。

議案第6号の

- 38-2番、森山地区森山町田尻の農地5筆、4,497㎡
- 37-2番、森山地区森山町田尻の農地1筆1,898㎡

計6,395㎡を、議案第7号の13番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります

議案第6号の

37-2番、森山地区森山町田尻の農地2筆、2,803.97㎡を、議案第7号の14番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります

議案第6号の44番、飯盛地区飯盛町里の農地1筆、847㎡を、議案第7号の15番に使用貸借10年で新規に権利設定する計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、馬鈴薯、里いもの生産を主体に経営されており、今回、権利の設定を受けることにより農業経営規模拡大に繋がります

続きまして、議案第7号の農用地利用集積等促進計画の変更について、説明しま

す。既に農業経営基盤強化促進法により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている小野地区川内町の農地4筆、7, 175㎡について、議案第7号の16-1番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、飼料作物の生産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である3年9か月となっています。既に農業経営基盤強化促進法により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている小野地区川内町の農地2筆、4, 107㎡について、議案第7号の16-2番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、飼料作物の生産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である5年2か月となっています。既に農業経営基盤強化促進法により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている森山地区森山町本村の農地1筆、1, 408㎡について、議案第7号の17番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、飼料作物の生産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である6年10か月となっています。既に農業経営基盤強化促進法により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている森山地区森山町田尻の農地1筆、950㎡について、議案第7号の18-1番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、野菜の生産を主体に経営することと、今回、新規に農業法人にて営農を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である6年11か月となっています。既に農業経営基盤強化促進法により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている森山地区森山町田尻の農地1筆、963㎡について、議案第7号の18-2番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、野菜の生産を主体に経営することと、今回、新規に農業法人にて営農を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である6年11か月となっています。既に農業経営基盤強化促進法により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている森山地区森山町田尻の農地1筆、938㎡について、議案第7号の18-3番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻、野菜の生産を主体に経営することと、今回、新規に農業法人にて営農を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である6年11か月となっています。既に農業経営基盤強化促進法により農地中間管理機構が利用権の設定を受けている森山地区森山町杉谷の農地2筆、2, 027㎡について、議案第7号の19番のとおり、設定を受ける者の変更を行う農用地利用集積等促進計画です。権利の設定を受ける者は、水稻の生

産を主体に経営しており、今回、農業経営規模拡大を行うため、権利の設定を行うものです。契約内容は、使用貸借となっており、貸借期間は従前の貸借期間の残存期間である7年1か月となっています。

以上 第6号議案の4番から44番までの申出は農地中間管理事業の実施に係るものと認められるため、農業経営基盤強化促進法第18条第3項第2号の要件を満たしています。また、第7号議案の1番から19番までの農用地利用集積促進計画は、「農地中間管理事業実施に関する規程」の「貸付先決定ルール」に基づき作成されたものであります。

議 長 議案第6号の4番から44番、議案第7号の1番から15番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、議案第6号の4番から44番を許可し、議案第7号の1番から15番を「意見なし」とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、議案第6号の4番から44番を許可し、議案第7号の1番から15番を「意見なし」とすることに決定いたします。

議 長 次の議案第7号の16番の1は、11番委員に関する事項でございますので、農業委員会等に関する法律第31条の規定により、11番委員の退席を求めます。

(11番委員退席)

議 長 16番の1について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、16番の1は、「意見なし」とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、16番の1は、「意見なし」とすることに決定いたします。11番委員の入場を求めます。

(11番委員・入場→着席)

議 長 続きまして、16番の2から19番について、何かご質問はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議 長 ご質問がないようですので、16番の2から19番は「意見なし」とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

議 長 ご異議がないようですので、16番の2から19番は「意見なし」とすることに決定いたします。

(報 告) 次に、報告案件について、事務局より報告願います。

事 務 局 報告第1号「農地法第3条の3の規定による届出書受理の件」について報告します。諫早地区から3件、森山地区から2件、合計5件出ています。届出理由は、全て相続により農地の所有権を取得したためです。

報告第2号「農地法第18条第6項の規定による合意解約の通知の件」につい

て報告します。飯盛地区から4件、合計4件の通知が出ています。解約理由としましては、2件が都合により耕作できなくなったため、1件が農地中間管理機構に貸し付けるため、1件が転用するため。となっております。

報告第3号 農地法第4条の規定による農地転用届出書受理の件につきましてご報告いたします。

1番 泉町の畑1筆105㎡を住宅用地（一般住宅）とする届出です。

2番 貝津町の田1筆86㎡を駐車場用地とする届出です。

報告第4号 農地法第5条の規定による農地転用届出書受理の件につきましてご報告いたします。

1番 栄田町の畑1筆90㎡を住宅用地（一般住宅）とする売買の届出です。

2番 栄田町の畑1筆187㎡を住宅用地（一般住宅）とする贈与の届出です。

3番 川床町の畑2筆4.06㎡を住宅用地（敷地の拡張）とする贈与の届出です。

4番 小川町の畑1筆965㎡を住宅用地（賃貸住宅）とする売買の届出です。

5番 多良見町化屋の畑1筆29㎡を住宅用地（一般住宅）とする贈与の届出です。

6番 多良見町市布の畑1筆708㎡を資材置場用地とする売買の届出です。

報告第5号 農業用施設届出書受理の件につきましてご報告いたします。

1番 森山町唐比北の田2筆合計800㎡の内198.61㎡に農業用倉庫を設置する届出です。

2番 高来町峰の畑1筆333㎡の内25.92㎡に農業用倉庫を設置する届出です。

報告第6号 農地改良等届書受理の件についてご報告いたします。

1番 久山町の田1筆346㎡、2番 久山町の田1筆1021㎡の内160㎡について、排水が悪く生産性が低いため田畑転換を行い、生産性を高めるため農地改良を行うものとなっております。改良後は、1番については果樹（ブルーベリー）を、2番については野菜（白菜、たまねぎ）を作付する計画となっております。

報告第7号 令和4年度農地賃借料情報の件について報告いたします。令和4年4月1日から令和5年3月31日に締結された田畑の賃借料を表のとおり地区別に取りまとめております。米による物納については、60kg12,000円で換算しております。また、数字が入っていない地区につきましては、事例なしとなっております。

以上で報告を終わります。

議長 ただいまの報告の件について、何かご質問はありませんか。
（「なし」と言う者あり）

議長 なければ、報告の件は、ご了承をお願いいたします。

議長 以上をもちまして、提出されました案件は全て終了いたしました。

お諮り（はか）りします。議決されました案件につきましては、字句、数字、その他整理を要するものがありました場合、その整理を議長に委任されたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

議長 異議ありませんので、これらの整理を要するものにつきましては、議長に委任することに決定いたしました。

議長 本日の、農地法等に係る審議結果をご報告します。

議案第1号	農地法第3条許可	4件。
議案第2号	農地法第3条許可後の計画変更	7件。
議案第3号	農地法第4条許可後の計画変更	3件。
議案第4号	農地法第5条許可	11件。
議案第5号	農地法第5条許可後の計画変更	8件。
議案第6号	農業経営基盤強化促進法による利用権設定	44件。
議案第7号	農地中間理事業に係る農用地利用集積等促進計画	19件。

以上、審議件数は、全部で96件でございました。以上で本日の審議事項等はすべて終了いたしました。委員さん方から何かご質問等はありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議長 なければ、事務局から連絡事項等はありませんか。

事務局 (事務連絡)

議長 それでは、これをもちまして、令和5年度諫早市農業委員会第5回総会を閉会いたします。長時間にわたり、ありがとうございました。

議長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____